

革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN

2022.12

号外

extra news

今号のテーマ

高専大会! ロボコン! プロコン!

- 熊本キャンパス 水泳部 200m自由形 全国優勝
- 八代キャンパス バド部 女子団体 地区大会優勝
- 熊本キャンパス テニス部 女子シングルス 地区大会優勝



Contents

- 01 全国高専大会
- 04 高専ロボコン2022
- 05 全国高専プロコン
- 06 大会結果一覧



全国高専大会に出場して

建築社会デザイン工学科 3年 渡並 俊介（水泳部）

私は、愛媛県で開催された全国高専大会水泳競技に 800m 自由形・100m 自由形で出場しました。コロナ禍で様々な制限がありアップやダウンを自由にできないなど、とても難しい環境での大会でした。

私の専門は短距離ですが、高専大会では出場選手が少ない 800 m 自由形で表彰台を目指しました。前半はリズムよく軽く泳ぎ、後半徐々にピッチを上げていく作戦を立てていました。しかし、長距離の経験が乏しい私は、前半上手くリズムを作れず、後半もペースを上げることができませんでした。結果は 4 位、得意の 100 m 自由形でも自己ベストを更新することができず、とても悔しい結果でした。

この試合を通して普段と違う環境で調整することの難しさを知りました。また、長距離でのペース配分など、今後の課題も見つかりました。

来年は表彰台に登れるように頑張りたいです。



全国高専大会に参加して

制御情報システム工学科 4年 大田 遥葵（水泳部）



私は愛媛県のアクアパレットまつやまで行われた第 57 回全国高等専門学校体育大会水泳競技の 200m 自由形、400 m 自由形に出場しました。「この大会で大会新を出して優勝して水泳を引退する」という目標を掲げ 1 年間練習をしてきました。結果は 200 m 自由形では優勝、400 m 自由形では競り負けて 0.1 秒差で 2 位でした。自分の泳ぎができず大会新どころか自己ベストも出すことができず本当に悔しいです。これで自分の水泳人生は一区切りつきましたが、振り返ってみるとよくここまで続けてこれたと思います。入学から 3 年間は同学年

の部員がおらず楽しめずに辞めなくなったり、スポーツ推薦で水泳の強い学校に行けばよかったと後悔したときも何度かありました。しかし顧問の先生やクラブのコーチや家族、一緒に練習した仲間が支えてくれたことで小学校からここまで長く続けることができました。この感謝の気持ちだけは忘れずにこれからの人生を送っていきます。

の部員がおらず楽しめずに辞めなくなったり、スポーツ推薦で水泳の強い学校に行けばよかったと後悔したときも何度かありました。しかし顧問の先生やクラブのコーチや家族、一緒に練習した仲間が支えてくれたことで小学校からここまで長く続けることができました。この感謝の気持ちだけは忘れずにこれからの人生を送っていきます。



高専大会を終えて

建築社会デザイン工学科5年 田上 梨緒 (バドミントン部)



7月1～3日に八代で九州高専大会、9月2～5日に香川県丸亀市で全国高専大会が開催されました。

九州高専大会では、男子は入賞できなかったものの、女子は団体戦優勝、シングルス優勝および3位、ダブルス優勝および準優勝という輝かしい成績を残すことができました。全国高専大会では、団体戦、個人戦とも思うような結果にはなりませんでした。出場選手全員が最善

を尽くしてプレーをしていました。

私は主将として約1年間部員をまとめる立場になって、人の前に立って仕事をする大変さを痛感しました。バドミントン部の主将として、部活の全メニューを自分で考え、それを部員全員に正確に伝えなければなりません。しかし、メニューを部員全員に伝えることがうまくいかず、1人で悩むことが多々ありました。

ただ、部員と協力し、経験を積むことで、徐々にできるようになっていき、主将としてだけでなく、人としても成長できた約1年間だったと実感しました。



高専大会 (テニス競技) を終えて

制御情報システム工学科4年 吉田 風沙 (テニス部)



7月に開催された九州高専大会テニス競技女子シングルの部で優勝し、8月に開催された全国高専大会に出場しました。九州高専大会は、新型コロナウイルスの影響で二年ぶりの

開催だったため、前回出場したのは1年生の時でした。1年生のときは準決勝で負けてしまい、惜しくも全国高専大会に出場できませんでした。その悔しさを糧に2年間頑張ってきたため、優勝できたことはとてもうれしかったです。しかし、全国高専大会では初戦敗退という形で終わってしまいました。全国高専大会に出場する選手のレベルの高さを痛感しました。高

専大会で勝つためには、今まで以上の練習が必要であると感じました。今回の全国高専大会で負けた悔しい思いを糧に、来年の高専大会は今よりもベストを尽くせるように日々の練習を頑張っていきたいです。

今回このような結果を得られたのも、サポートをしてくださった先生方と保護者、練習相手となってくれた部員の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。



全国高専大会に参加して

橋本 拓未 (3MI)、光 永 愛実 (2AC)、勇 滯里 (1BC) (卓球部)

男子はシングルの部で全国高専大会に出場しました。九州高専大会では、男子シングルベスト 8 決定戦であと一点取られたら負けるところから逆転勝ちをしてそのまま勝ち上がり、準優勝することができました。準決勝では 4 名中 3 名（橋本、坂口、桑原）が八代キャンパスの選手でした。全国大会では緊張してしまい満足いくプレーができず、予選敗退という結果で終わってしまいました。来年は九州高専大会を三冠して、全国高専大会で個人も団体も予選を突破できるように頑張りたいです。

女子はダブルスの部で全国高専大会に出場しました。九州高専大会の全国行きのペアを決める準決勝では、フルゲームで競り勝つことができました。対戦相手は団体戦で負けていたペアでしたが、2 人でお互いのミスをカバーしながら勝つことができました。良いプレーができ、

嬉しかったです。全国高専大会では、1 勝 2 敗で予選敗退でした。悔しい結果でしたが、3 試合とも頑張ることができました。女子は去年、選手が 1 人しかおらず個人戦にしか出ることができませんでした。今年から選手が増え、団体とダブルスも組めるようになりました。来年は九州高専大会の団体に優勝して、全員で全国高専大会に行けるように頑張ります。



全国の経験

建築社会デザイン工学科3年 寺前 稜士 中原 希紘 (ソフトテニス部)

僕たちは初めて全国高専大会に出場し、たくさんさんの経験をしました。

まず、初めに全国高専大会で自分の地区以外の選手と戦うことができ、全国のレベルを知ることができました。僕たちは初めての全国高専大会出場で、九州高専大会とのレベルの差に驚きました。3 年生の今、全国のレベルを知ることができたことは今後の高専大会にも役に立つと思います。

また、日頃の練習の大切さを学ぶことができました。僕たちは日頃、課題や演習を言い訳に練習を休んだり、大会前の調整を怠ったりしていました。その結果ミスにつながり敗因にも繋がったと思います。テニスは自分たちのミスが直接相手の得点になるので、今後はミスを減らし、失点を減らすことで勝利を目指したいと思います。

九州高専大会は 3 位という良い結果でしたが全国高専大会ではすぐに敗北してしまったので、次は努力を怠らず今回以上の活躍をしたいと思います。



ロボットコンテスト九州大会に参加して

人間情報システム工学科3年 大橋 遥也(ロボコン部)



10月30日(日)に高専ロボコン2022九州沖縄地区大会が開催されました。今年は3年ぶりの対面形式での大会に加え、私たちの地元、合志市での開催となりました。今年のテーマは「ミラクル☆フライ〜空へ舞いあがれ!〜」、ロボットが紙飛行機を飛ばし得点を競うテーマでした。

熊本キャンパスは、熊本の名産スイカを模したロボットのAチーム「とびだせ!スイカキング!」と、高得点のベースBを集中的に狙う

Bチーム「飛ばす!落とす!五点集中連続砲火X」が出場しました。地区大会の結果、Bチームはセメダイン特別賞を受賞しましたが残念ながら2年連続の全国大会出場は叶いませんでした。

私は、Aチームのロボットの装飾担当として参加しました。スイカのデザインや素材の選択など試行錯誤を重ね、現在の形に仕上げました。大会を見てくださった皆さんに驚きと愛嬌を届けられていたら嬉しいです。部員それぞれが反省点や目標を見出し、「熊本キャンパスロボコン部を強豪校にする」ことを目指して今後も頑張っていきます。

最後に、担当顧問の先生方やOBを始めとする保護者、後援会の方々から応援、ご協力を頂きました。この場を借りて心から感謝申し上げます。

高専ロボコンに参加して

機械知能システム工学科4年 井本 結菜(ロボコン部)



私たちは、10月30日(日)に熊本県合志市で開催された高専ロボコン2022九州沖縄地区大会に、Aチーム「fourtress」、Bチーム「Clark.Y」で参加しました。Aチームは準決勝、Bチームは予選リーグで今大会優勝の大分Bに敗れましたが、Aチームはプッシュ式の機構と紙飛行機へのこだわりが評価され、八代キャンパスとして5年連続となる全国大会出場権を得ることができました。

3年ぶりとなる対戦形式での競技としては初めてのメンバー参加で、対戦相手がいたり、周囲の応援があったりと、ここ数年とは違った熱気や緊張感に胸が高鳴りました。自分が所属し

ていたBチームは力を発揮するも負けてしまい、喪失感に襲われましたが、大会から1週間が過ぎ、全国大会への準備や次大会に向けて動き出すメンバーに逞しさを覚えました。同時に私自身も、最終学年となる来年の大会を笑顔で終えるために、決意を新たにしました。

最後に、いつもご迷惑をおかけしている顧問や工場の先生方を始め、多くの方々の協力や応援に感謝申し上げますとともに、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



プログラミングコンテストに参加して

機械知能システム工学科3年 嶋中 海人(情報システム研究部)



10月に全国高等専門学校プログラミングコンテストが群馬県高崎市で開催されました。3年ぶりの現地開催となった今大会の競技部門に出場しました。

競技の内容は「群馬県の『上毛かるた』を複数同時に読み上げた音声データから読まれた札を判別し、取り札の正確さや使用したデータの少なさを競う」というものでした。メンバー全

員が競技部門未経験でしたが、チーム内で音声解析・畳み込み処理等試行錯誤を重ねて開発を進めました。

本選では準決勝まで勝ち上がりましたが、決勝進出がかなわず悔しい結果となりました。アルゴリズムの精度、作戦の練り方が不十分だったように思います。同時に、他高専のレベルの高いアルゴリズムや課題・自由部門の独創的なアイデアにはとても良い刺激を受けました。現地開催ならではの貴重な経験でした。

開発・資料作成、引率、旅費等多方面でご支援いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。来年度は課題・自由部門での出場も目指し部員一同励んでいきます。



プログラミングコンテストに参加して

人間情報システム工学科3年 中村 春喜(電算部)



私たちは10月に第33回高専プロコン群馬大会の競技部門に参加しました。高専プロコンとは、全国の高専生が持ち寄ったスキルとアイデアをプログラミングに落とし込んで競う大会です。

今年の競技部門のテーマは「かるたを複数人が同時に読み上げた音声を渡すので、コンピューターを使って聞き分けてください」というものです。約2ヶ月間懸命に開発をした結果、

43チーム中16位までは入ることができましたが、賞を取ることはできず悔しかったです。しかし、複数人で一つのプロジェクトを作る、という点で非常にいい体験が出来ました。自分だけが分かるプログラムを書いても意味がないということです。また、現地では他高専の人たちとも交流がありました。同年代の人たちの技術力に驚かされ、自分も負けていけないと感じました。

高専プロコンは私にとって刺激的で、自分たちの実力を試すことの出来る良い機会でした。今年の反省点を活かし、来年の高専プロコンにリベンジしたいです。



国立高等専門学校体育大会等結果一覧

第59回九州沖縄地区高専体育大会

競技名	キャンパス	種目名	選手氏名	順位
陸上	熊本	男子100m	坂田 涼	8位
		男子200m	坂田 涼	7位
	八代	男子100m	柿本 晃太郎	5位
		男子200m	濱口 尚輝	6位
		男子800m	水田 悠人	6位
		男子110mH	星田 琥太郎	3位
卓球	八代	男子シングルス	橋本 拓末	準優勝
			坂口 智哉	3位
			桑原 愛翔	3位
		男子ダブルス	橋本 拓末	3位
			坂口 智哉	
		女子ダブルス	光永 愛実 勇 澤里	優勝
水泳	熊本	男子50m自由形	清田 匠真	3位
		男子200m自由形	大田 遥葵	優勝
		男子400m自由形	大田 遥葵	優勝
		男子100m背泳ぎ	福島 優太	4位
		男子400mリレー 4×100mメドレーリレー	福島 優太	5位
			大田 遥葵	
			押川 彰馬	
			清田 匠真	
		男子400mリレー 4×100mフリーリレー	大田 遥葵	3位
			清田 匠真	
			福島 優太	
			山本 優人	
	八代	女子200mリレー 4×50mメドレーリレー	坂口 楓	3位
			松田 ひかる	
			城 仁子	
			戸田 麻友	
		女子200mリレー 4×50mフリーリレー	坂口 楓	3位
			松田 ひかる	
			戸田 麻友	
			城 仁子	
		男子200m平泳ぎ	吉田 佑晟	6位
		男子100m自由形	渡並 俊介	準優勝
		男子800m自由形	渡並 俊介	優勝
バドミントン	八代	男子団体	渡並 俊介	6位
			山本 樹	
			山口 裕一朗	
			宮崎 志音	
		女子100m平泳ぎ	進 楓	3位
		女子200m個人メドレー	進 楓	3位
		女子50m自由形	堀川 桃子	8位
		女子100m自由形	堀川 桃子	7位
		女子100m自由形	下釜 涼那	8位
	八代	男子団体	田上 梨緒	3位
			長 蓮成	
			坊村 希龍	
			ムゲン グナセカラン	
			富田 悠一朗	
			梅木 心	
			安達 琢真	
			ズ 亮吾	
		女子団体	沖田 梓帆	優勝
			中島 朝陽	
			永井 天那	
			竹下 ほのか	

競技名	キャンパス	種目名	選手氏名	順位
バドミントン	八代	女子シングルス	竹下 ほのか	優勝
			坂口 奈々	3位
			沖田 梓帆	3位
		女子ダブルス	竹下 ほのか 小森田 夏実	優勝
			沖田 梓帆 中島 朝陽	準優勝
			※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※	3位
バレーボール	八代	女子	※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※ ※※	3位
			古閑 柊平	3位
			清田 駿介	3位
			山川 蔵之真	
			中久保 慶一	
			上田 聖也	
			嶋田 竜也	
			城 太智	
			内山 瞬	
			吉田 風沙	優勝
			中原 希紘	3位
			寺前 稜士	
ソフトテニス	八代	男子ダブルス	中島 希紘	3位
			寺前 稜士	



第57回全国高等専門学校体育大会

競技名	キャンパス	種目名	選手氏名	順位
水泳	熊本	男子200m自由形	大田 遥葵	優勝
		男子400m自由形	大田 遥葵	準優勝
	八代	男子800m自由形	渡並 俊介	4位

高専ロボコン2022九州沖縄地区大会

キャンパス	チーム・ロボット名	選手氏名	順位
熊本 C	B チーム 飛ばす壁とすい五集中連続砲火X (トバス オス コテンクロス)	神代 昌太	特別賞 (セメダイン株式会社)
		小林 環太	
		島川 俊輔	
八代 C	B チーム Clark.Y (クラークワイ)	井山 椋太	特別賞 (本田技研工業株式会社)
		長尾 泰雅	
		馬越 航	

高専ロボコン2022全国大会

キャンパス	ロボット名	選手氏名	順位
八代 C	fourtruss (フォートレス)	堀上 大貴	特別賞 (株式会社安川電機)
		満永 仁	
		満永 礼	

第55回九州沖縄地区英語プレゼンテーションコンテスト

キャンパス	部門	学生名	順位
八代 C	【暗唱部門】	内田 彩乃	3位
	【プレゼンテーション部門】	岡崎 心優	3位

コンペティション等結果一覧

Japan Steel Bridge Competition 2022 (JSBC2022)

キャンパス	作品名	学生名	順位
八代 C	ワニばし	宮田 彪太郎	4位・特別賞
		中道 朱音	
		泉田 裕貴	
		橋本 昌祈	

第69回日本大学全国高等学校・建築設計競技

キャンパス	作品名	学生名	順位
八代 C	公私混同	西村 羽誕	奨励賞

第13回半導体材料・デバイスフォーラム

キャンパス	講演タイトル	学生名	順位
熊本 C	非晶質 Ge/SiO ₂ における Mg 誘起横方向成長～二段階熱処理法の評価～	平井 杜和	ポスター発表 優秀賞
	n 形 Mg ₂ Si 中に形成された捕獲準位の DLTS 測定	清水 響子	ポスター発表 優秀賞

Love Tech Nagasaki -24時間スマホアプリ開発ハッカソン-

キャンパス	アプリ名	学生名	順位
熊本 C	Meather	大倉 空	最優秀賞
		中原 太陽	
		新留 祥稔	
		福住 和真	

2022ロボットアイデア甲子園熊本大会

キャンパス	タイトル	学生名	順位
熊本 C	下刈ロボット：シタガリー	板東 和寿	最優秀賞
	落下物すくう君	小野 誠秀	優秀賞
八代 C	自動ペットボトル分別・洗浄機	西 美咲希	最優秀賞
	スーパーしゃくとり虫号	末富 泰治	優秀賞

地域課題の解決を目指す政策アイデアコンテスト

キャンパス	タイトル	学生名	順位
熊本 C	球磨村に設ける地域内外多目的交流拠点	板東 和寿	熊本県賞

The 16th International collaboration Symposium on Information, Production and Systems (ISIPS 2022)

キャンパス	タイトル	学生名	順位
熊本 C	Passive SAW Wireless Sensor for Use in Shielded Narrow Spaces Coupled with Microstrip Lines	新留 祥稔	口頭発表 奨励賞
	Development of Synchronous Multisensor Data Storage System for Driving Behavior Analysis	洗 大智	ポスター発表 奨励賞

2022年理工系高校生によるプロジェクト

キャンパス	タイトル	学生名	順位
熊本 C	安定した飛行を行う自律輸送ドローンの開発	江口 智朗	奨励賞



熊本高専だより号外 2022.EXTRA NEWS

【発行】広報戦略室 令和4年12月

編集後記

コロナ禍に翻弄される学生生活は、我々大人には推し量ることはできません。そのような中でも前進し続けてきた学生達もいるということを本号では垣間見ることができます。結果を残し続ける者、新たなチャンスを掴み上のステージを肌で感じた者。紙面で伝えきれない苦労、苦悩、葛藤の中でも、学生生活に有意義な意味付けをしようとしている学生達の確かな意志は、新しい時代の息吹と希望の持ち方を伝えてくれているようです。

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>



熊本高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211



たゆめ挑戦。飛躍の高専！
2022 高専制度創設60周年

